

2012年12月3日

各位

オリコン株式会社

# オリコン 2012年「年間“本”ランキング」発表

当社グループでは、現在、全国1,907店(2012年12月現在)の調査協力店より収集した書籍の実売データに基づいて、週間の“本”ランキングを発表しておりますが、本日、2012年の年間ランキングを発表しました(集計期間:2011年11月21日～2012年11月18日)。主なジャンルの作品別1位は、次のとおりです。

ジャンル	書名	著者名	出版社	期間内推定 売上部数
BOOK(総合)	寝るだけ! 骨盤枕ダイエット	(監修)福辻鋭記	学研パブリッシング	792,426
コミック	ONE PIECE 65	尾田栄一郎	集英社	3,336,992
文庫	ビブリア古書堂の事件手帖 ~葉子さんと 奇妙な客人たち~	三上延	アスキー・メディア ワークス	846,883
新書	聞く力 心をひらく35のヒント	阿川佐和子	文藝春秋	657,768
ビジネス書	聞く力 心をひらく35のヒント	阿川佐和子	文藝春秋	657,768
文芸・小説	舟を編む	三浦しをん	光文社	457,994
コミックエッセイ	日本人の知らない日本語 3 祝! 卒業編	蛇蔵&海野凧子	メディアファクトリー	348,922
ファッション	Cath Kidston SPECIAL BRITISH ISSUE Spring Summer 2012	—	宝島社	220,868
料理・グルメ	体脂肪計タニタの社員食堂 500kcalの まんぶく定食	タニタ	大和書房	549,010
美容・ダイエット	寝るだけ! 骨盤枕ダイエット	(監修)福辻鋭記	学研パブリッシング	792,426
写真集	for No. ∞	(編)講談社	講談社	137,586
タレント本	聞く力 心をひらく35のヒント	阿川佐和子	文藝春秋	657,768
ゲーム攻略本	ポケットモンスターブラック2・ホワイト2 公式ガイドブック完全ストーリー攻略ガイド	元宮秀介&ワンナッ プ	オーバーラップ	199,724
旅行ガイド本	るるぶ 京都 '12~'13	—	JTBパブリッシング	130,583
TV番組関連書籍	SMAP×SMAP COMPLETE BOOK 月刊スマスマ新聞 vol.1 ~PINK~	—	東京ニュース通信 社	143,645
ムック	寝るだけ! 骨盤枕ダイエット	(監修)福辻鋭記	学研パブリッシング	792,426
児童書	こびと大百科 ~びっくり観察フィールド ガイド~	なばたとしたか	長崎出版	327,932

⇒本年のランキングのトピックスを次ページ以降に記載しております。

## ■BOOK(総合)部門、年間ベストセラーは『寝るだけ! 骨盤枕ダイエット』79.2万部。

### 本年ミリオンセラー「0作」

BOOK(総合)部門は、「骨盤枕」付きの『寝るだけ! 骨盤枕ダイエット』(昨年2月発売/学研パブリッシング)が売上79.2万部で年間1位に。2008年の調査開始以来、ダイエット本、並びに近年トレンドとなっている付録付き書籍としては初の年間1位となった。また、5作(2008年)、2作(2009年)、2作(2010年)、7作(2011年)と毎年誕生していたミリオンセラー作は今年、調査5年目で初の「0作」となった。

『寝るだけ! 骨盤枕ダイエット』は、美容鍼灸の第一人者・福辻鋭記が監修。“1回5分、腰の下に「骨盤枕」を置いて寝るだけで即おなかぺったんこになる”というダイエット法を紹介している。付録の「骨盤枕」一つで始められる手軽さと、テレビ・雑誌を始めとするメディア露出で一躍人気に。中でもテレビの影響は大きく、今年1月20日の『中居正広の金曜日のスマたちへ』(TBS系)放送週を集計した1/30付週間ランキングでは前週比6.6倍増の売上げ(8.0万部)を記録し、累計売上100万部突破。翌週の2/6付週間ランキングでは発売から1年にして初の首位を獲得した。その後も『はなまるマーケット』(TBS系)、『人生が変わる1分間の深イイ話』(日テレ系)、『がちりマンデー!!』(TBS系)など、紹介のたびに売上を伸ばしていた。

## ■俳優・美木良介、作家別2位、3作で年間総売上104.4万部

自身が提唱する“ロングブレスダイエット”本がヒットとなった、俳優の美木良介(55)が今年ミリオンセラー作家に。年間40.2万部の『DVDで完璧にわかる! 美木良介のロングブレスダイエット 必やせ最強ブレスプログラム』(総合12位/今年7月発売/以下すべて徳間書店)を筆頭に、『美木良介のロングブレスダイエット 1週間即効ブレスプログラム すべてのエクササイズがDVDでよくわかる!』(昨年11月発売)が33.4万部(総合16位)、『美木良介のロングブレスダイエット』(昨年6月発売)が30.8万部(総合22位)と、ランクイン計3作で総売上104.4万部を記録。作家別総売上でも、『恋物語』(年間26.6万部)などがヒットとなった西尾維新の140.8万部に次ぐ2位となった。

“ロングブレスダイエット”とは、美木が20年来悩まされていた腰痛を解消するため、自身で試行錯誤して開発した呼吸法。3秒間息を吸い、7秒間長く吐くというゆっくりと長い呼吸を繰り返すことで、内蔵を囲んでいるインナーマッスルの腹覆筋や腰痛の原因となる脊椎起立筋が鍛えられ、その結果、代謝の良い体ができ、ウエストのシェイプアップやダイエットにもつながるといふもの。注目を集めるきっかけとなったのが、勝間和代さん(-7kg)、TBSアナウンサーの升田尚宏さん(-12kg)らが同ダイエット法で減量する模様が放送された、今年5月の『中居正広の金曜日のスマたちへ』(TBS系)。直後の5/28付週間BOOK(総合)ランキングでは、前週100位圏外だった『美木良介のロングブレスダイエット』(昨年6月発売)と『美木良介のロングブレスダイエット 1週間即効ブレスプログラム すべてのエクササイズがDVDでよくわかる!』(昨年11月発売)がそれぞれ3位と5位に急上昇。さらに、7月のロンドン五輪女子重量挙げ48キログラム級で銀メダルを獲得した三宅宏実選手も減量のため同ダイエットを実践したというニュースもヒットの後押しとなり、7/30付週間BOOK(総合)ランキングでは『DVDで完璧にわかる! 美木良介のロングブレスダイエット 必やせ最強ブレスプログラム』(今年7月発売)がシリーズ初の首位に。一大ブームとなっていた。

## ■阿川佐和子『聞く力』が年間総合2位、ジャンル別で4冠

タレント・阿川佐和子(59)の『聞く力 心をひらく35のヒント』(今年1月発売/文藝春秋)が、「ビジネス書」「自己啓発」「新書」「タレント本」のジャンル別4部門で1位に輝いた。年間売上は65.8万部。4部門制覇は今年最多となり、同書は総合部門にあたる「BOOK(総合)」部門でも『寝るだけ! 骨盤枕ダイエット』(昨年2月発売/学研パブリッシング)に次ぐ年間2位のベストセラーに。今年発売の書籍としてはトップの売上を記録した。

同書は、『週刊文春』で約20年の長きにわたり連載されている人気の対談企画『阿川佐和子のこの人に会いたい』で、企業経営者や大物俳優、スポーツ選手や10代のアイドルなど、老若男女を問わない幅広い世代の人々を相手にその本音を引き出してきた著者のインタビューの秘訣をまとめた作品。「相づちの極意」、「質問は3本」、「安易に『分か

ります』とは言わない』など、インタビューを職業とする人のみならず、日常のコミュニケーションやビジネスの場でも実践可能な“人の話を聞くための方法と心構え”が、具体的な例や失敗談を交え紹介されている。

#### ■写真集部門で、「8周年」関ジャニ∞、メモリアルイヤーに初の写真集が年間1位

写真集部門では、今年デビュー8周年を迎えた、7人組グループ・関ジャニ∞の初の写真集『for No. ∞』(今年10月発売／講談社)が年間で13.8万部の売上げを記録し、1位を獲得した。同部門においては、昨年、一昨年はAKB48が、2009年はベッキー(28)が1位を獲得しており、男性写真集としては2008年の上地雄輔(33)『上地雄輔フォト&エッセイ『上地雄輔物語』』(2008年7月発売)以来4年ぶりの1位に。男性グループとしては同部門初の1位となった。本作は、今年8周年の関ジャニ∞が決して順風満帆ではなかったというこれまでを振り返り、ファンに感謝すると同時に新しい自分たちを表現した写真集。モノトーンをテーマに表現したファッションポートレートや、ミュージシャンとしての彼らにフォーカスをあてたフォトセッションなど、これまでになかった切り口で表現した写真から、各メンバーが今夏毎日撮り続けたデジカメ日記、ロングインタビューまで約160ページに亘って紹介している。

そのほかTOP10内はAKB48関連作が大挙ランクイン。今年8月にAKB48を卒業した前田敦子(21)は『前田敦子写真集 不器用』(今年3月発売／小学館)が2位、『前田敦子AKB48卒業記念フォトブック『あっちゃん』』(今年8月発売／講談社)が4位。HKT48・指原莉乃(20)の『指原莉乃1stフォトブック さしこ』(今年1月発売／講談社)が5位、AKB48・柏木由紀(21)の『AKB48 柏木由紀 2nd 写真集 『ゆ、ゆ、ゆきりん…』』(今年4月発売／集英社)は6位、SKE48・松井玲奈(21)の『松井玲奈 写真集「きんぎょ」』(今年3月発売／光文社)は9位で、3位の『AKB48総選挙！水着サプライズ発表 2012』(今年8月発売／集英社)、8位の『AKB48 Twenty-Four Hours』(昨年12月発売／幻冬舎メディアコンサルティング)のグループ写真集を含め、計7作がTOP10入りした。

#### ■文芸・小説部門1位は、『舟を編む』。本屋大賞受賞作が2年連続で1位を獲得

今年4月に『2012年本屋大賞』を受賞した、三浦しをん『舟を編む』(昨年9月発売／光文社)が年間で45.8万部を売上げ、文芸・小説部門で1位を獲得した。同書は、主人公・馬締光也と個性的なメンバーが集う出版社の辞書編集部を舞台に、登場人物たちの葛藤や人間模様を描く長編小説。『2012年本屋大賞』受賞をきっかけに人気に火がつき、今年4/23付週間ランキングでは発売から7ヵ月で初の首位に。7月には、来年4月に松田龍平(29)と宮崎あおい(27)主演で映画化されることも発表され、息の長いヒットとなっていた。なお、これで『本屋大賞』受賞作による文芸・小説部門1位は、昨年の東川篤哉『謎解きはディナーのあとで』(2010年9月発売／小学館)に続き2年連続となった。

そのほかでは、『謎解きはディナーのあとで 2』(昨年11月発売／小学館)が昨年3位から2位、昨年年間総合1位の第一弾『謎解きはディナーのあとで』は8位。コミックがシリーズ別総売上部数で年間2位となった『黒子のバスケ』の小説『黒子のバスケ -Replace II- キセキの学園祭』(昨年12月発売／集英社)と『黒子のバスケ -Replace III- ひと夏のキセキ』(今年9月発売／集英社)はそれぞれ4位と6位に。今年1月の『第146回芥川賞』受賞後の会見での発言が話題となった田中慎弥『共喰い』(今年1月発売／集英社)は10位に入った。

#### ■文庫部門では、『ビブリア古書堂』第1弾が1位。シリーズ年間総売上が200万部突破

文庫部門では、来年1月、フジテレビ系月9ドラマ(主演:剛力彩芽)として放送が開始される、三上延『ビブリア古書堂の事件手帖 ~葉子さんと奇妙な客人たち~』(昨年3月発売／アスキー・メディアワークス)が年間売上84.7万部で1位に。また、『ビブリア古書堂の事件手帖 2 ~葉子さんと謎めく日常~』(昨年10月発売)が63.3万部で5位、『ビブリア古書堂の事件手帖 3 ~葉子さんと消えない絆~』(今年6月発売)が58.7万部で8位に入り、シリーズ3作全作がTOP10入り。年間総売上は206.7万部に達し、200万部を突破した。同シリーズは、鎌倉の片隅にひっそりと佇む古書店「ビブリア古書堂」を舞台に、うら若き美貌の店主・篠川葉子と、本が読めない体質の無骨な青年・五浦大輔

が、奇妙な客が持ち込む古書の謎や秘密を解き明かしていくビブリオミステリー。第 1 弾は文庫作品として初めて『2012 年本屋大賞』のノミネート作品に選ばれ、話題となった。

そのほかでは、村上春樹の『1Q84 BOOK1 <4 月-6 月> 前編』(今年 4 月発売/新潮社)が 78.9 万部で 2 位、『～後編』が 61.0 万部で 6 位。東野圭吾は『聖女の救済』(今年 4 月発売/文藝春秋)が 74.5 万部で 3 位、『プラチナデータ』(今年 7 月発売/幻冬社)が 71.3 万部で 4 位。『第 147 回 直木賞』を受賞した辻村深月『ツナグ』(今年 9 月発売/新潮社)は 50.1 万部で 9 位に入った。

※各ジャンルのランキングの詳細については、「ORICON STYLE」サイトにおいて特集記事として掲載しておりますので、以下の URL のページをご参照下さい。

URL: <http://www.oricon.co.jp/entertainment/ranking/2012/bookrank1203/index.html>

## オリコン 2012 年「年間“本”ランキング」の概要

### <集計期間>

2011 年 11 月 21 日(月)～2012 年 11 月 18 日(日)

### <調査協力店舗総数(2012 年 12 月現在)>

1,907 店舗(WEB 通販含む)

### <調査協力書店様一覧(五十音順)>

旭屋書店、アニメイト、Amazon.co.jp、いまじん・白揚、紀伊國屋書店、くまざわ書店、コミックとらのあな、三省堂書店、三洋堂書店、セブンネットショッピング、TSUTAYA、戸田書店、ネオ・ウィング、明屋書店、フタバ図書、ブックスタマ、丸善、漫画全巻ドットコム、未来屋書店、八重洲ブックセンター本店、有隣堂、楽天ブックス、リブロ、WonderGOO 他

### <発表ジャンル>

- BOOK(総合)部門 作品別 20 位、作家別 5 位
- 文庫部門 作品別 20 位、作家別 5 位
- コミック部門 作品別 20 位、シリーズ別 5 位
- 写真集部門 10 位

以下の部門については、各TOP5

- 新書部門 ●ビジネス書部門 ●自己啓発部門 ●文芸・小説部門 ●コミックエッセイ部門
- ファッション部門 ●料理・グルメ部門 ●美容・ダイエット部門 ●文庫ライトノベル部門 作品別、シリーズ別
- タレント本部門 ●ゲーム攻略本部門 ●旅行ガイド部門 ●新書ノベルズ部門
- ムック部門 ●児童書部門 ●スポーツ関連本部門 ●TV 番組関連書籍部門
- グッズ・マルチメディア部門

以上

### 本件に関する問い合わせ先

オリコン株式会社 企業広報部 日高

TEL:03-3405-5252(直通) FAX:03-3405-8189